



上田商店 ニュース

vol. 153

平成27年11月16日(月)

制作:上田商店サークル会
AM8:00送信

年末・年始の準備はいかがでしょうか

今年も余すところ1ヶ月半となりましたが、年末・年始の準備はいかがでしょうか。今回もメンバー各自異業種を含む様々な情報を持ち寄り話し合いました。最後の項目の調査結果で、消費者意識の利用動向の特徴から、若者(20代)は、クリーニングに期待感を持った人がいるように感じます。やり方によっては利用頻度が高くなる要素があるように思います。また経営実態の方では、確かにシミ抜きを別料金にしていく店は、比較的いい経営状態だと感じます。

上田サークル会 会長 上田 良堂



社長	専務	部長		

ー上田サークル会 例会報告ー

洗濯物をロボット技術で畳む

『seven dreamers laboratories』とパナソニック、大和ハウス工業は2015年10月「全自動洗濯物折り畳み機」の共同開発をスタートした。一般消費者向けに、2016年度中の先行予約を目指す。

最終製品では、40枚の衣類を認識して、畳み、収納できるようにするという。現時点ではシャツ類、ズボン、スカート、タオルを認識できるが、今後は多様な種類の衣類も判別できるよう改善を重ねていくといふ。

今後、2018年には介護施設・病院向けの洗濯物折り畳み機・分配収納機を発売する予定だ。

さらに2019年には「洗う、乾かす、畳む、仕分ける、収納する」までを全て自動で行う機種を発表することを目指すとの事だ。

秋の衣替えに関する意識調査

全国にチェーン展開するシャツ専門店が、秋の衣替えに関する意識調査を行った。以下、結果の主な要旨。

▶ビジネスファッショの衣替えの時期は?…10月が49.3%という結果。クールビズが終わるこの時期、意識的に衣替えを行っているようだ。▶ネクタイ着用ビジネスマンはどのくらい?…72.8%が着用。業種業界により自由な服装を目にするが、ネクタイを着用して仕事をしている人が多い。▶衣替えの時期に気になるワイシャツのお手入れ方法…いつもクリーニングに出す23.0%、家庭で洗濯している63.3%。社会人歴が長くなるにつれて、自宅で洗濯し、ハンガーにかけて収納している人が多いとの結果だ。

営業目的のBGMは有料

『日本音楽著作権協会(JASRAC)』が、著作権の手続きをせずにBGMを流している飲食店や美容院など258施設に対し、使用料などを求めて各地の簡易裁判所に民事調停を申し立て、波紋が広がっている。

JASRACは2002年4月に徴収を開始。当時は98%の店が有線放送などを利用し、USENなどの「音楽提供事業者」を通じて徴収できた。最近では「iPod(アイポッド)」などに曲をダウンロードしたり、好きなCDをパソコンで編集したりして使う店が増加した。

現在、徴収対象の約130万店のうち、個別契約済みは9%で、有線契約などを除く35%の約46万店が無許諾とみられるという」という記事が載っていた。今後の新店舗づくりなど考慮する必要があるよう思う。

お客様の喜ぶ楽しいアイデア

茨城県の某社は、今までのクリーニング業界の常識を覆すことにチャレンジしている。これまで、お客様がクリーニング店を選ぶ理由といえば「速さ」と「安さ」がほとんど。それだけでは物足りない。例えば「お店のデザインでクリーニング店を選ぶ」という新しい基準があつても面白いじゃないか。そんな発想のもと、デザインが全く異なる3種類の店舗を運営している。

曜日によってはサイコロ(2個)を振って出た合計分の割引きをするなど、毎曜日ごとにサプライズやハブニングを大胆に取り入れ、ナンセンスな面を含めた様々なお客様の喜ぶ楽しいアイデアでの営業活動を行っている。

この情報に関するお問い合わせ・ご注文は、
お気軽に右記の(株)上田商店までお願いいたします。

□電 話 06(6633)4621 担当:上田
□F A X 06(6633)4625 (24時間受付中)

消費者意識・経営実態調査

日本政策金融公庫が取りまとめた、クリーニング業を初めてテーマとした消費者意識・経営実態調査の主な調査結果内容を取り上げた。(Vol.150でも紹介)

【消費者意識調査】

<クリーニング店の最近1年間の利用動向>

- 衣料の保管サービスを「利用した」は7%。集配・宅配サービスを「(よく・たまに)利用する」は8%(集配)、6%(宅配)。保管・集配・宅配サービスへの関心は(利用していない方に聴取)20代・30代が特に高い。
- クリーニング店の利用動向の特徴として、若者(20代)の二極化が挙げられる。

非利用者のうち、過去に「一度も利用したことがない」は20代(29%)が最も多く(全体は14%)。

一方利用者では、クリーニングの利用金額が「増えた」と今後「増える」は、いずれも20代が多く(「増えた」:20代27%、全体16%、「増える」:20代19%、全体11%)、また、保管・宅配サービスの利用割合が最も高いのも20代である(保管:20代11%、全体7%、宅配:9%、全体6%)。

【経営実態調査】

売上高の増減動向および収支状況別にみた、営業状況が良好な事業者に共通の特徴。

<取扱商品・サービス等>

- クリーニングの料金は安く、仕上がり日数は早い。
- 衣類以外で取扱いしている品目では「帽子」「バッグ」「靴」の取扱割合が高い。
- 各種加工サービス(はっ水加工等)の取扱割合が高く、これらを積極的に案内。
- しみ抜き、修繕サービスを原則として有料で実施。
- 保管・集配・宅配サービスを実施している企業では、これらの売上高が増加、収益面の貢献度も高い。
- 多様な販促活動を実施。また、顧客の利用頻度に応じたサービス(ポイント・割引等)を実施。
- イベント・セール回数が多い。

□営業時間 AM 9:30~PM 5:00(月~金)

□U R L <http://www.uedashouten.jp/>